

令和5年2月21日（火）

## 令和5年3月定例会 議会運営委員会行政視察報告

令和5年1月24日に実施しました、議会運営委員会の行政視察の内容と主な成果について、ご報告申し上げます。

視察先は、茨城県小美玉市議会で、議案等のペーパーレス実践取組事例について視察をさせていただきました。

初めに、茨城県小美玉市議会の「概要」についてご報告申し上げます。茨城県小美玉市は、茨城県の中南部の県央地域に位置し、人口5万人の市で、平成18年3月27日に、茨城県東茨城郡小川町、東茨城郡美野里町及び新治郡玉里村の2町1村が合併して、小美玉市が誕生しました。その小美玉市には、市内の東部に航空自衛隊百里飛行場があり、民間施設として茨城空港も併設されています。

また、茨城県内有数の酪農地で、生乳生産量が県内第1位であり、全国でも生乳生産量が第8位となっています。平成26年には、「小美玉市乳製品で乾杯を推進する条例」を制定し、結婚披露宴などでも、乾杯で使用されております。平成30年10月20日には、第1回全国ヨーグルトサミットイン小美玉の一環で製作した映像が、全国広報コンクールで特選に選ばれ、総務大臣賞を受賞しています。その中で、小美玉食品ふるさと公社において、小美玉市の生乳が特産品となり、ヨーグルトが販売されています。

小美玉市の議員定数は、現在20人となっており、本会議では、平成24年6月定例会から、一般質問は一問一答方式を採用し、常任委員会は、総務常任委員会6人、文教福祉常任委員会7人、産業建設常任委員会6人の3委員会が設置されています。議長は、常任委員会の委員としては入っておらず、その他議会運営委員会は、7人で構成されています。

今回視察をした理由は、志木市議会でも導入をしました、ペーパーレス会議のシステムと同一のものであり、小美玉市議会でも2年前に導入をしていることから、今後の議会運営の参考とするためであります。

主な視察の内容としては、ペーパーレス会議システムの導入の経緯や導入までの流れ、導入効果と今後の展望、議会活動の効率化等であります。

はじめに、小美玉市議会のタブレット端末導入経緯ですが、これまでの課題は、紙媒体資料作成時のコストと職員負担の増大、資料配布時、資料差替えの際の時間と手間、会議準備で事務局職員の負担、議員と事務局間の連絡手段、市民への情報提供手段とされてきました。

また、小美玉市議会では、議会活性化の推進で、議会活性化特別委員会での調査、研究協議や、市民に開かれた議会議員活動の向上に向けて、ICT化を推進してきたとのことであります。また、タブレット端末を導入することで事務局と議員間の効率的な情報手段、市民への効果的な説明手段の確保という内容でした。

タブレット端末の電子会議システムの導入までの流れでの導入方針は、本会議、委員会等における電子データでの会議資料閲覧、議員活動における情報収集ツール、市民への説明ツールや、事務局から議員への連絡手段とのことであります。

導入時期については、令和3年度は紙媒体と併用して試行で運用し、令和4年度からペーパーレス化を本格実施しています。

費用負担に関しては、執行部(総務課)で予算化し、契約事務についても同課で行っており、その他庁舎でのハード整備は、行政経営課が行ったとのことであります。運用面については、運用面での議員に対するサポートは事務局で行い、業者との窓口は総務課で担っており、運用ルールは議会、執行部がそれぞれ作成することにしています。策定体制は、議会運営委員会で決定し、全員協議会で全議員に対し周知を行ったとのことであります。

導入効果としては、セルラーモデルのタブレット、クラウド型ペーパーレス会議システムを導入することで、場所を問わず会議資料の確認が可能となり、大画面タブレットによる情報の閲覧や、文字や画像の拡大・縮小が自在となったとのことであります。

課題点としては、利用者の技術に個人差があり、平準化することが課題となっており、その他、紙媒体との併用期間は、一時的に事務量が増大し、事務局から議員へ通知内容の既読確認を容易にするとの意見がありました。

小美玉市議会の今後の展望は、事務局と議員間の連絡手段をタブレット化に一本化することで、情報伝達の即時性、確実性の確保と労力の削減を目指し、議員の政務活動におけるタブレット活用の一層の推進をして、グループウェアの導入を図っていくとのことであります。

また、執行部においては、説明員のペーパーレス対応手段の確保や、内部会議における電子会議システムの更なる活用との説明がなされました。

今般の視察は、志木市議会が議会関係資料ペーパーレス化を本格実施をしていく上で、大いに参考になるものでありました。今後においても、志木議会としての議会ICT化の推進、市民へのわかりやすい正確な説明等、一層の議会改革について、調査、研究を続けてまいります。

以上をもちまして、議会運営委員会の行政視察報告といたします。